



平成29年10月22日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ: http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容

< 2・3面 > 備えて安心! わが家の防火対策 / スマートフォン・携帯電話からの119番通報のポイント / スマートフォン・携帯電話で[東京版救急受診ガイド]を使ってみよう!
< 4面 > 日常生活での事故を防ごう / 消防団員募集 / 秋の火災予防運動 / Miniコラム / プレゼントコーナー

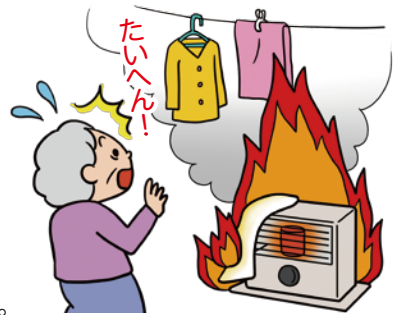


住宅火災から命を守るために!

住宅火災による死者の多くは高齢者!

平成28年中の住宅火災により61人の方が亡くなっています。このうち、44人が高齢者の方です。近年、住宅火災による死者に占める高齢者の割合は7割以上で推移しており、主に高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦の世帯で発生しています。

高齢者の方は、火災に気がつくのが遅れたり、避難に時間がかかることが多く、被害が大きくなる可能性があり、特に注意が必要です。
※注: 高齢者とは65歳以上の方をいいます。



死者が発生した住宅火災の主な出火原因

死者が発生した住宅火災の主な出火原因として「たばこ」、「こんろ」、「ストーブ」があげられます。火災を防ぐポイントを確認して尊い命を守りましょう。



火災を防ぐためには、日頃からの心掛けが大切です!

① たばこによる火災

特徴

- ◆ たばこの火種が布団などに落下して出火しています。
- ◆ 消しきれていない吸殻の不始末から出火しています。



☑ たばこによる火災防止対策

- 寝たばこは、絶対にしない
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- 吸殻を灰皿にためない
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

② こんろによる火災

特徴

- ◆ 火をつけたまま放置し、出火しています。
- ◆ 着ている服への着火により死者が発生し、特に高齢者の方が多くなっています。



☑ こんろによる火災防止対策

- 調理中に離れない
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する
- 安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する

③ ストーブによる火災

特徴

- ◆ ストーブによる火災の多くが電気ストーブによるものです。
- ◆ ストーブの近くにある燃えやすいものに着火し、出火しています。



☑ ストーブによる火災防止対策

- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時、就寝時は必ず消す
- 洗濯物を乾かすために使用しない
- 石油ストーブ等は必ず消してから給油する

こんろの「伝導過熱」による火災にご注意ください!

こんろと壁の距離とが不十分なまま使用を続けていると、タイルやステンレスのような不燃材に覆われていても、壁に熱が蓄積して壁内の木材が発火することがあります。

ポイントを防ぐ!

- ◆ こんろと周囲の壁との距離は、十分な距離をとります。
- ◆ 十分な距離がとれない場合は、壁から1cm以上空間をあけて防熱板(ステンレス等の耐熱性や強度があるもの)を固定ネジで堅固に取り付けましょう。壁と防熱板の空間を確保するためのスペーサー*は金属以外の不燃材を用いましょう。
※スペーサーとは、壁と防熱板の間に挟んで空間を確保するための器具のこと。



発見しないうちに発生しない所で

備えて安心! わが家の 防火対策



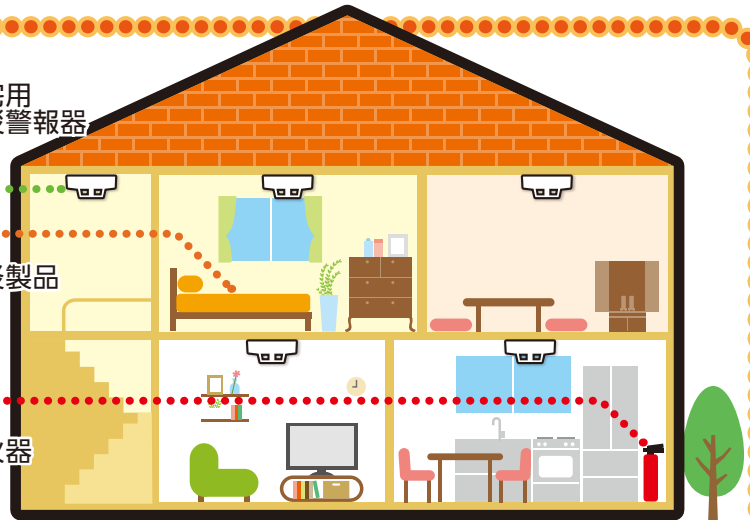
住宅用
火災警報器



防災製品



消火器



住宅火災の被害を防ぐため住宅用防災機器を備えましょう。



住宅用火災警報器を設置しましょう。

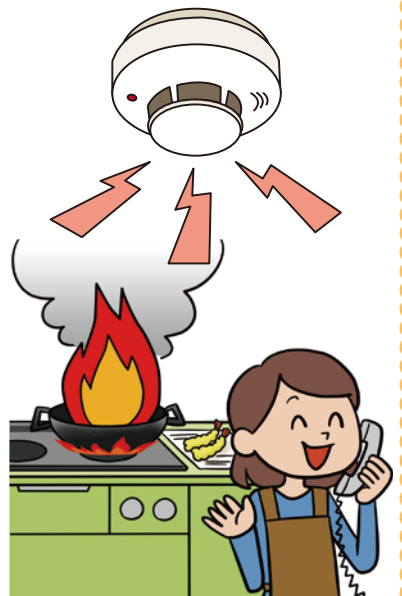
住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、知らせることで大切な命を守ります。

火災が起きた時は、いち早く気づくことがとても重要です。安全・安心を高めるために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

東京消防庁管内では条例により、すべての住宅の全ての居室、台所、階段に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。現在8割以上の住宅で設置されていますが、必要な全ての場所への設置はその内の6割程度です。定められた全ての場所へ設置しましょう。

住宅用火災警報器には、火災を感知すると、設置された全ての警報器が鳴動する連動型や、インターホンに接続し、外部に火災を知らせることができるものもあります。

住宅用火災警報器は、電子部品の寿命や故障、電池切れ等により、火災を感知できなくなることがありますので、本体のボタンを押したり、ひもを引いて、定期的な点検を行いましょう。また、取扱説明書・製造年等で本体などの交換時期を確認することも大切です。



ご家庭に消火器を備えましょう。

いざという時に備えて、消火器の適切な使い方を身につけましょう。

消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。火を使う場所には、消火器を備えましょう。

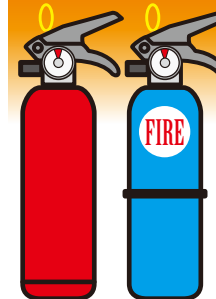
消火器には、共同住宅等で設置が義務付けられている消火器の他、一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や片手で簡単に使用できるエアゾール式簡易消火具があります。

いざという時に備えて、地域の防災訓練や消防署のイベントに参加して消火器の適切な使い方を身につけましょう。



住宅用消火器

エアゾール式
簡易消火具



小型で軽量で様々な色があります。

片手で簡単に使用できます。



※消火器には使用期限が定められています。

※消防職員が住宅用防災機器を販売することはありません。悪質な訪問販売等にご注意ください。



防災製品を使いましょう。

火災から身を守るため、身の回りの物を防災製品に!

防災製品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。防災製品には寝具類、エプロン、アームカバーなどがあり、防災館ほかホームセンター等で購入できます。

※防災製品について詳しくは最寄りの消防署におたずねください。



防災製品ラベル



寝具類



布団による燃焼比較実験

防災製品

非防災製品

住まいの防火防災診断

「住まいの防火防災診断」とは、高齢者、障害者の方など、災害時に支援が必要な方のお宅を消防職員が



訪問し、火災、震災、家庭内事故等の危険性についてアドバイスなどを無料で行うものです。一回あたりの診断の所要時間は約30分です。住まいの防火防災診断については、最寄りの消防署まで、ご相談、お問合せください。



診断項目の一例

- 【火災予防】暖房器具やガスコンロなどの使用状況、住宅用火災警報器の設置状況など
- 【地震対策】家具類の転倒・落下・移動防止対策の実施状況など
- 【家庭内事故】階段、床等の転倒危険個所の状況、浴室内事故の危険性など

※診断を行う場合は必ずご本人の同意をいただきます。



スマートフォン・携帯電話からの119番通報のポイント

年々スマートフォンや携帯電話等からの119番通報が増加しています。

携帯電話等は、通報者が今いる場所が分からない場合が多く、災害発生場所を特定するのに時間がかかる傾向があります。スムーズな通報のためポイントを確認しておきましょう。



POINT 1 付近の目標となる建物や住居表示板などで住所を確認してください。

近くの住宅の表札、電柱、公衆電話、自動販売機などに住所が書かれていることがあります。住所や目標とした建物等は、確認のために2回おたずねします。(位置情報サービスを“オン”に設定しておくことで、場所の特定がしやすくなります。)



POINT 2 災害救急情報センター、救急隊や消防隊から折り返しの電話をかける場合があります。

通報後、救急隊や消防隊が到着するまではスマートフォン・携帯電話の電源を切らないようにしましょう。

POINT 3 通報時は、あわてず・はっきり・正確に!!

まずは落ち着いて通報してください。「火事ですか?救急ですか?」をはじめ必要な情報をおたずねします。また救急の場合、状況により必要な応急処置を指導します。



火災の場合におたずねすること

- ◆住所(近くの目標物・ビル等の場合何階か?)
- ◆何が燃えているか?

火事ですか? 救急ですか?

災害救急情報センター

救急の場合におたずねすること

- ◆住所(近くの目標物・ビル等の場合何階か?)
- ◆誰がどうしたのか?
- ◆通報者の氏名・電話番号

※かかりつけ病院や詳しい持病等の事は到着した救急隊へお伝えください。



スマートフォンで「東京版救急受診ガイド」を使ってみよう!

症状の選択画面

赤色の質問に該当すると

東京版 救急受診ガイド
東京消防庁

4 小児発熱
「熱が出た」「熱がある」「体が熱い」「悪寒がする」「震い」など

当てはまる場合はボタンを押してください。

赤 意識がもうろうとしている、または、おかしなことを

赤 1日中ウトウトしている。

赤 興奮している、または、あばれている。

どれにも当てはまらない

救急車で搬送が必要

救急車を要請することをすすめます。

電話番号 119

119番に電話する

画面上のボタンから救急車を要請できます

119番へ電話をかける

119番へ電話をかけ、救急車を要請します。よろしければ次のボタンを押してください。

119番に電話する

1時間以内の受診が必要

今すぐを受診

1時間以内に病院へ行かれた方がよい状態です。お示した診療科を参考にしてください。

ご自身の症状に赤色の質問が当てはまらなければ、「どれにも当てはまらない」を選択し、次に橙色の質問を確認します。橙色の質問に当てはまる質問があると、1時間以内の自力受診を勧めます。

病院情報サイトから病院を調べられます

病院情報サイト

- 東京都救急医療案内サービス
- 東京都消防局救急医療案内

ためらわず救急車を呼んでほしい症状 (都府省消防庁) 【小児】 【大人】

リンク集

緊急性に応じて必要な対応を4段階に色分け

- 高 赤 救急車を要請 (今すぐ119番から救急車を要請)
- 橙 今すぐを受診 (1時間以内に病院へ)
- 黄 これから受診 (6~8時間以内に病院へ)
- 低 緑 明日には受診 (24時間以内に病院へ)

スマートフォンは 携帯電話は

こちらから

病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら...

電話でも! ネットでも!

#7119

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

電話で相談 #7119 電話

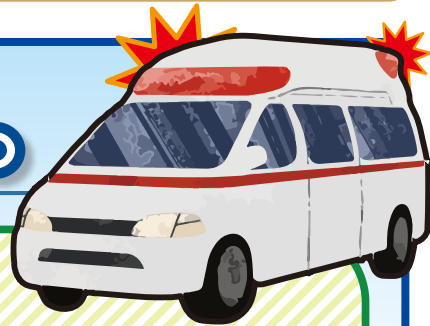
東京消防庁救急相談センター

ネットでガイド #7119 検索

東京版救急受診ガイド



日常生活での事故を防ごう。



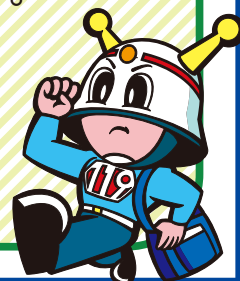
日常生活での事故(交通事故を除く)により、平成28年中に約13万2千人^{※1}が救急搬送されています。

救急搬送の半数以上は高齢者で、5年間^{※2}に30万人以上の高齢者が日常生活での事故で救急車により医療機関へ搬送されています。

※1 東京消防庁管内 ※2 平成24年から平成28年まで

ころばぬ先の予防策

- 段差をなくしましょう。
- 段差(段の先端部)を分かりやすくしましょう。
- 足元を十分に明るくしましょう(足元灯・照明器具の設置など)。
- 滑り止めをしましょう(階段・廊下・玄関先など)。
- 歩行を補助しましょう(手すりなど)。
- 継続できる、体力にあった運動をしましょう(散歩など)。
- ころぶ原因となるものは取り除きましょう(整理・整頓)。



圧倒的に多い「ころぶ」事故。

中でも「ころぶ」事故が全体の約8割を占め、5年間に約22万人の高齢者が医療機関に救急搬送されています。高齢になるほど「ころぶ」事故によるケガをしてしまうことが多く、約4割が入院の必要がある中等症以上と診断されています。また住宅内で「ころぶ」事故が多く発生し、発生場所は「居室・寝室」が最も多く、次に「玄関・勝手口」、「廊下・縁側」となっています。

日常生活での思わぬケガが生活に影響を及ぼすこともあり、本人だけでなく家族や地域で事故防止を考えることは大変重要です。

消防団員募集

詳しくは、東京消防庁HP「首都東京を守る消防団」をご覧ください。



入団条件

①年齢18歳以上の方②健康な方③消防団の区域内に居住、勤務又は通学している方

問合せ先

23区にお住まいの方は最寄りの消防署・消防団本部まで、市町村にお住まいの方は各市町村まで。

秋の火災予防運動 11/9 - 11/15



平成29年秋の火災予防運動ポスター

消防演習のお知らせ

一日消防署長に俳優の山本耕史(やまもと こうじ)さんをお迎えし、大規模な消防演習を実施して消防隊・消防団等とともに火災予防を呼びかけます。
 日時：平成29年11月9日(木) 9:00～12:00(予定)
 場所：新宿東宝ビル (新宿区歌舞伎町1-19-1)
 イベント内容：消防演習、防火パレード、防災トークショー等

お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

新春を飾る! 平成30年東京消防出初式

【日時】平成30年1月6日(土)9時30分から【場所】東京ビッグサイト(江東区有明)

消防車両分列行進、消防演技、音楽隊とカラーガーズ隊による演奏演技、江戸消防記念会によるはしご乗りなどを披露します。

屋内展示場では、消防資器材の展示、消防車両の乗車体験、ミニコンサートなども実施いたします。



東京消防出初式に1,200名様をご招待

抽選で合計1,200名様を「平成30年東京消防出初式」の指定席(椅子席)にご招待いたします。みなさんのご応募をお待ちしております。

※自由席(椅子席・立見席)も4,000席をご用意していますが、会場の安全確保のため満席となった時点で入場を制限させていただきます。(開場8時00分)

<応募方法> 往復はがきに

■希望席種別【家族席(3～5名の人数)、ペア席、個人席】

■代表者の住所・氏名・席が必要な方全員の名前

を明記の上、下記の宛先へご応募ください。

<宛先> 〒100-0004 千代田区大手町1-8-1

KDDI大手町ビル内郵便局留め 東京消防庁 出初式担当

<締切> 平成29年11月10日(金) <必着>

※詳細は、東京消防庁ホームページ、フェイスブック、ツイッターに掲載しています。



お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に

「東京消防庁オリジナルトートバッグ」をプレゼント!!

<応募方法> ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119 (住所不要)

東京消防庁広報課

「広報とうきょう消防」編集担当

<締切> 平成29年11月6日(月) 必着 (応募はお1人様につき1枚といたします。)

<当選発表> プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。

前回(第26号)プレゼントコーナーへのたくさんのご応募ありがとうございました。

消防ヘリコプター「ちどり」のイラスト入り!

幅36cm
高さ37cm
のキャンバス
トートバッグ



お待ちしています!

